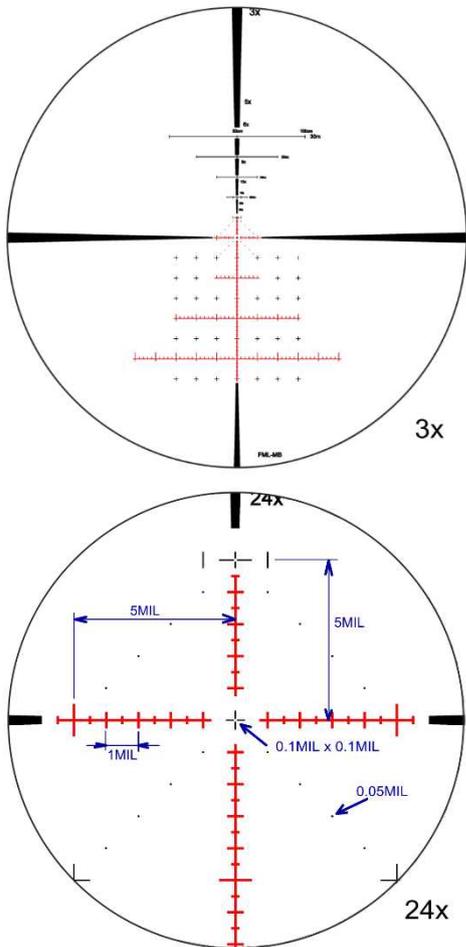


FML-MB Reticle 説明

1) 仕様



・イルミ部デザイン

- センター：横方向---左右各 5MIL (0.5MIL 目盛)
- 上方向---- 5MIL (0.5MIL 目盛)
- 下方向---- 35MIL (0.5MIL 目盛)
- 下 10MIL 位置---左右各 5MIL (1MIL 目盛)
- 下 20MIL 位置---左右各 15MIL (1MIL 目盛)
- 下 30MIL 位置---左右各 25MIL (1MIL 目盛)

・イルミ無し部デザイン

- 下方向 5MIL 毎 +印 (1MIL 幅) (黒)
- 横方向左右各 15MIL、下方向 35MIL まで
- センタークロス部(黒) 0.1x0.1MIL スペース
- センターより斜めに $\phi 0.05MIL$ ドット(黒)
- 1MIL 間隔左右各 4 個
- 5MIL 上センターより斜めに 0.05MIL ドット
- 1MIL 間隔左右各 4 個

2) 機能

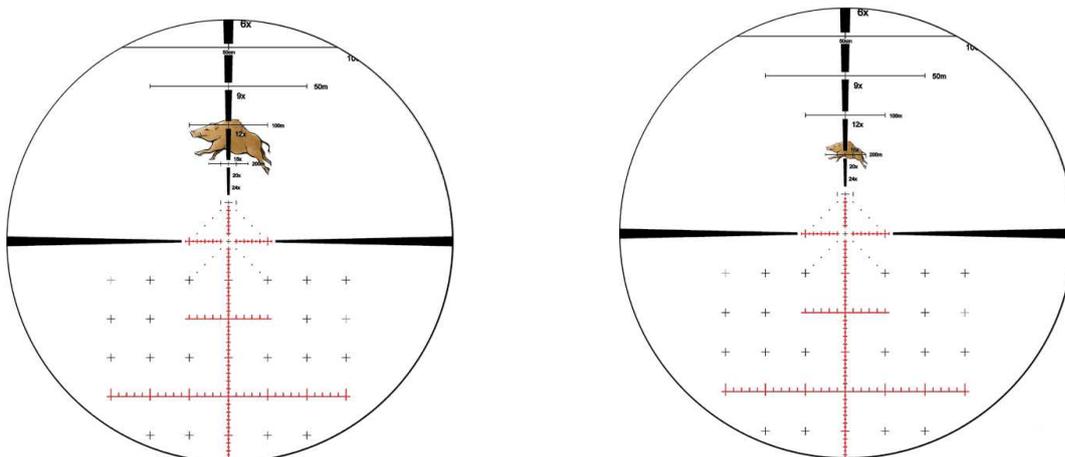
レンジング機能

例えば、標的の横幅が 1m と仮定します。

レンジング目盛を 30m、50m、100m、200m の 4 種類で設定しております。

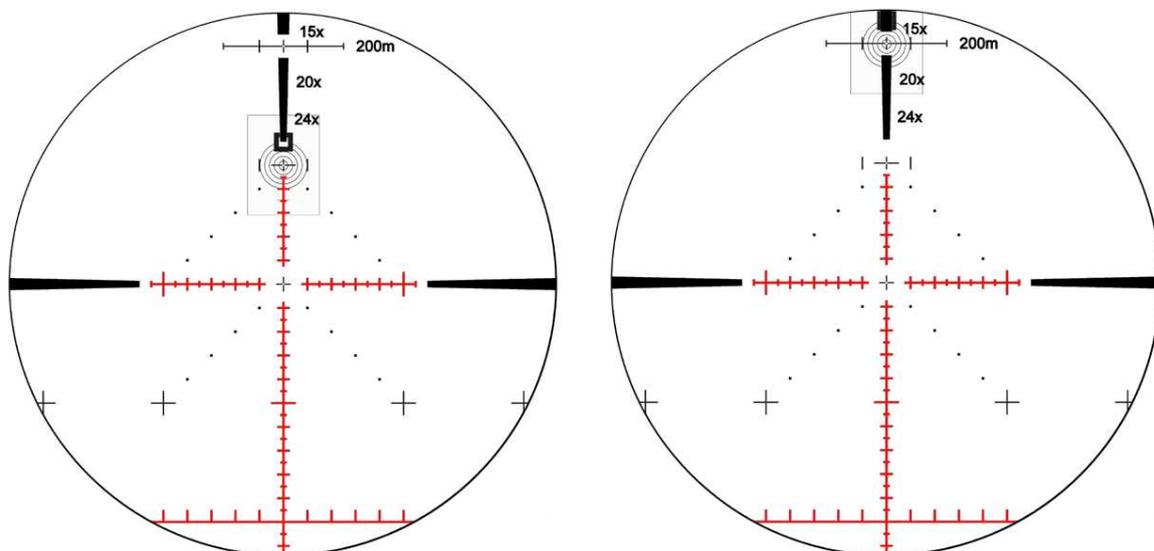
1m 幅の標的を長さの近いレンジング目盛に合わせると、距離の推測が可能になります。

また逆に、距離が判れば標的の大きさを、レンジング目盛で判別可能です。



ゼロポジション選択機能

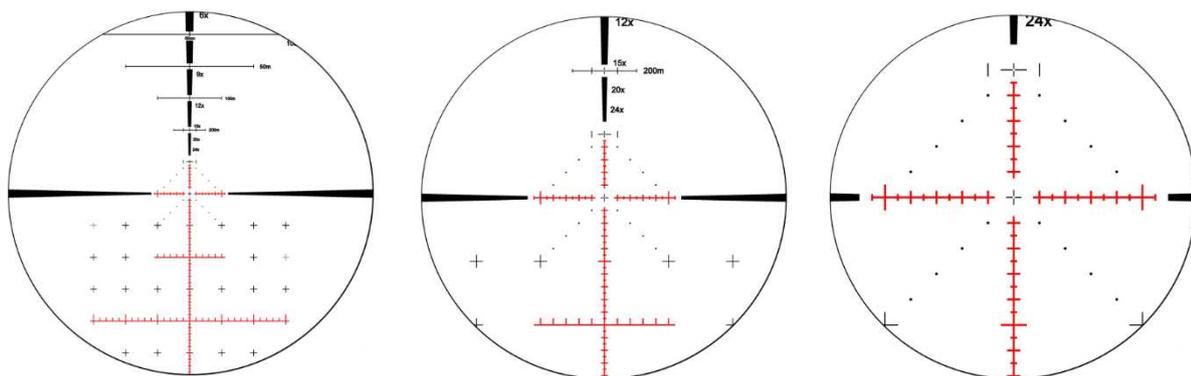
スコープをゼロインするときセンターで合わせず、5MIL上、又は10MIL上をセンターとしてゼロインすると落下の方向にそれぞれ5MIL,10MIL余分に調整量として目盛を使用できます。この為に目盛に数字を入れてありません。



エアライフル射撃の場合、従来のレチクル中央でゼロインでは、遠距離に於いては着弾位置の変化に合わせて、倍率を下げる必要がありました。この機能により、より遠くの標的を、より高い倍率で狙えるようになりました。

倍率確認機能

ズームした時、レチクルが拡大（縮小）されるとともに、上部に現れる数字で使用倍率が確認できます。これにより標的から目を離すことなく（ズームリングの倍率数字を確認する必要なく）倍率変更が可能になりました。



一般にクリスマスツリーと呼ばれているレチクル（Horus等）は下方方向に細かくドットを配置していますが、今回のレチクルはできるだけクリアな視界を確保するために、5MIL毎に致しました。

このレチクルは、弾丸の落下距離の大きいエアライフル射撃用に開発されました。